

平成21年度第3回岡山市総合政策審議会 都市・交通部会の会議概要

1 日 時 平成21年11月19日(木)9:30~11:13

2 場 所 岡山市役所3階 第3会議室

3 出席者 委員14名中9名出席

岡山市 : 白神都市整備局長、中村都市・交通・公園担当局長

柏内統括審議監、

岸審議監(都市・交通・公園担当、公共交通政策推進担当)

時松審議監(土木担当、都市基盤づくり担当)

植田審議監(都市建築担当、住宅政策推進担当)

尾野公園緑地課長、小野道路計画課長

事務局:友實次長ほか

4 傍聴者 なし

5 会議次第

(1)都市整備局長あいさつ

(2)議 事

保存樹の指定解除について

岡山市みちづくり計画について

6 主な意見等

保存樹の指定解除について

(概要説明)

指定解除の対象樹木…クスノキ 所在地…中区西川原 所有者…大林寺

指定…昭和39年4月1日 推定樹齢…約120年

指定解除についての経緯…樹木の成長に伴って根が張り出し、西側に隣接する墓石が傾いて墓参者に危険が及ぶような状態や東側のお堂も傾いて危険な状態となったため、支柱を取り付けて対処していた。しかし、年々影響が大きくなっている状況

のなか、平成 21 年になり墓石の転倒やお堂の倒壊等の危険が高まったため、緊急避難的に伐採の必要が生じ、現在、当樹木は安全性を確保するため切断処理されている。こうしたことから保存樹の指定解除をしようとするものだ。(保存樹の指定解除についての資料により説明)

(質 問)

保存樹等に係る届出で、伐採をしようとするときの仕組みを教えてください。

(回 答)

管理上、支障が出た時点で所有者から相談があり、現地を確認、必要があれば樹木医の意見を聞き、市としては残していただく方向での検討の中で総合的な判断のもとに所有者と話し合った結果、所有者から解除申請が出てくる。

(質 問)

保存樹の指定は所有者の申し出により行われるのか。指定後に維持費などの支援はあるのか。

(回 答)

所有者からの申請と市からこれは残すべきという両方から指定されている。保存樹を健全に保存するために必要な費用(診察費、治療費等)については予算の範囲内で支援している。

(質 問)

保存樹が大きくなって、今後も周りへの支障が増えていくのではないかと思う。大きくなる木の周りには、物を建てないのが望ましいとかのアドバイスをしているのか。特段の土地利用制限とかまではできないと思うが。

(回 答)

そこまでの制限はなくて、皆さんのご協力、ご理解により緑化に対する思いを高めて、守っていきたいと考えている。

(質 問)

保存樹は二度と得ることができないものだ。人間が勝手にそばまで侵食していった危なくなったら抜いてしまうのでは何かとでもたまったものではないような気がするが、いかがか。

(回 答)

今回の件も地元は残したいという思いは非常に強いものがあった。その中で、今後は保存樹の申請者の思いもあるので、そこら辺は考えていただくと同時に、市も含めて考えていきたいと思っている。

(部会長)

私有地だから、第一義的にはその所有者に権限があるし、それをどの辺まで制限できるかというのはなかなか難しいと思う。指定された保存樹は市民の共有財産の部分もあるわけだから、指定に当たっていろいろ注意するとか、あるいは所有者の理解を取りつけておくとか、今後に向けて考えていただきたい。

それでは、この保存樹の指定解除について同意をいただいたということにさせていただきます。

岡山市みちづくり計画について

(概要説明)

本計画は、岡山市都市ビジョンに掲げる「人と環境にやさしい総合交通システム」の構築を目指して、向こう10年間の道路整備の方針と整備計画を定めるものだ。(岡山市みちづくり計画(案)の資料により説明)

(質問)

道づくりを考えるにあたって、国、県、周辺市との調整があると思うが、その辺りについて教えてほしい。

(回答)

政令市移行に伴い、市内外の広域的な幹線道路の整備を視野に入れてしなければならないことから、国、県との調整会議を開きながらお互い連携してやっている。また周辺市町の意見も本市が加入している道路整備期成会を通じて聞くなど踏まえてやっている。

(質問)

公共交通機関との連携ということだが、主な施策を見ると、その部分が他に比べ少ないという感じがするが、これからやっていくことでよろしいか。

(回答)

公共交通と自動車交通、道路整備というのは競合する場面もあるが、お互いに助け合う部分もある。その中で公共交通のサービス水準を上げるというのが重要だと思っているので、そういったものの支援につながるような施策というものを道路側で打っていきたいと考えている。

(質問)

「みちづくり計画」ということだが、みちをつくるばかりでなく、どう利用するかという「みち使い」の部分も積極的に入れるべきと思うが、どうか。

(回答)

都心内の主な交通手段としては公共交通、徒歩、自転車が主体だろうと考えているので、そういった利用ができるような道路空間の再編を通じて、自転車レーンの整備や歩道整備を考えていきたいと思う。

(質問)

将来交通需要推計について、人口増のピークは2015年ぐらいだが、岡山市は2005年から2030年で4パーセント増となっている。この辺りの考えを教えてください。

(回答)

この単位が10億台キロ/年となっており、どこからどこまで行くという長さを掛け合わせた数字だ。人口が一定であっても交通量が伸びるということで、岡山の場合は交通需要が伸びるという推計となっている。

(意見)

社会ストック自体が右肩上がりということをおぼやかしめるようなことより、岡山の道路整備事情は十分ではないし、質の面でいろいろあると思うから、質の面を向上させるといふところを少しアピールされてはどうかと思った。

(意見)

これからの道というのは、経済活動をいかに円滑にするかということと、公共交通への転換をいかに図っていくかということが肝心だと思っている。都市交通戦略と十分連携を取ってしっかりと具体的に取り組んでいただきたいと思う。

(意見)

渋滞対策だが、その渋滞が発生している原因をもう少し細かく見ていただいて、それに応じた対策というものをマネジメントしていただければと思う。

(質問)

計画策定に当たって、現状の問題解決という策はもちろん必要だが、誘導策という観点も必要になってくると思う。車にとって便利な岡山市と公共交通にとっても便利な岡山市を同時に目指していくのか。それともすみ分け、使い分けといったものを考えていくのか。

(回答)

自動車交通か公共交通かという二者択一という考え方ではなくて、お互いの利便性を高める中で適切な交通分担をしていこうという考え方だ。

(意見)

朝夕の交通ラッシュで、その30パーセントぐらいの人が公共交通を利用することになれば、渋滞がかなり緩和されると思う。今はバス専用レーンをマイカーが占

領している。できないことをできるようにするのが政策であって、少しずつでもやっていただきたいというのが市民の願いだ。

環境問題も含めて交通渋滞を防ぐためにも、自転車利用者が非常に多いところは自転車レーンを確保してほしい。

少しずつ前に進めていただくことが重要だから、10年計画の中で順序をつけて一つずつ進めていただきたい。

(質問)

外環状線はいつを目標にしているのか。

(回答)

今の供用率は3割だ。完成の目途がついているものから、今年度から着手したものでいろいろなものがあるので、完成時期について説明できる段階ではない。

(質問)

岡山市は豊かな自然がある都市だと思う。里山を楽しむような豊かな生活を考えた政策というのはあるのか。

(回答)

観光道路というような大掛かりものはやっていないが、地域にある自然や歴史を楽しんでいただけるように、「てくてくロード事業」というのを従前から行っており、引き続きやっていきたいと考えている。

(質問)

西川緑道公園の西側の道路を緑化フェアに併せて改良整備され、きれいになっているが、歩行者優先の道路という状況ではない。これは完成したという扱いなのか、それともこれからまだ道路交通のコントロールとか考えていくのか。

(回答)

この道路は、西川緑道公園と道路を隔てた町並みをつなぐという役割も一つあるかと考えているおり、桃太郎大通りから下石井公園までの電線地中化事業に併せて、歩行者が歩けるような歩行空間を生み出していこうと現在進めている。

(質問)

歩行者がゆっくりと歩けるという空間が達成されたかどうか、どのようにして測っているのか。

(回答)

下石井公園のところは少し道路空間を縮めまして、なおかつ道路空間にあえて狭窄区間を入れたりしており、これらによって自動車走行速度の低減につながるのかなど検証中だ。

(意見)

そこをよく見ているが、スピードにおいてそんなに変わっていないのかなと思う。あと少しハンプを設けるとか、新たに整備するところはカーブの度合いをもう少し強める

とか、やり方はあろうかと思うので、よくその辺り検証していただければと思う。

(意見)

公共交通と連携したみちづくりの中に、現在、バス停の整備や利用者が安全に待機、乗降できるような空間を整備しているが、車椅子での乗降などもっと公共交通を支援するハード面の施策を入れていただきたいと思う。

(質問)

10年間の計画で5年後に評価するとなっているが、こういった形で評価されるのか教えてほしい。それから歩行者からの観点というのがはっきり見えてこなかった、その辺を少し入れていただければと思う。

(回答)

今回、お示しできていないが、今後10年間に達成すべき道路整備の目標値というか、成果目標を今考えている。成果目標を中間年度の5年で評価をし、遅れていれば、財政的な制約はあると思うが、計画自体の見直しなど計画のローリングを考えている。

(部会長)

道路というものは、自動車や、公共交通としてバスとか走るし、それから歩行者、自転車も、あるいは商店など経済活動をされている方の問題もある。もっと言えばハンディキャップの話も出てくる。そういうことをすべて道路というところで解消していかなければいけないという大変難しい課題を抱えている。

難しい課題を解決しながらやっていかなければいけないが、そのときには市民意識がそれを推進する最も大きな力になるだろうと思っているので、計画を推進するためには市民の協力がいる、理解がいるということも書いておく必要があると思う。

次回は、より具体的な話が提案されるということなので、今日の話と重ねて一度検討いただき、またご意見をいただきたい。